

「うまい話」

悪徳商法に気をつけて！

悪徳商法の手口は実に巧妙になってきています。これらから身を守るためにはしっかりと心がかげと慎重な姿勢、みんなの協力が大切です。

まず、肝に銘じて欲しいのが、世の中には「うまい話」はないということです。よく考えてみれば、すぐわかるはずですが、自分にだけ、労せずしてお金がごろがり込んで来るといった話はありません。そんな「うまい話」を持ち込んでくる、見知らぬセールスマンは疑ってかかる必要があります。十二パーセントの高利率を前払いで渡し、抵当証券の倒産騒ぎでは、五年もので八・九パーセントの利率で客を集めていました。いずれも、その結果は、多数の客に高額の損害を与え、社会問題にまでなりました。

被害に遭わないために

ところで、被害に遭わないようにするには、どうしたらよいのでしょうか。特別のこゝとではありませんが、次のことを心がけて欲しいものです。



買う前に家族とよく相談をする

被害を未然に防ぐことが一番大切です。一人で考え、悩んでいると、とかくセールス

むづかしい話

マンの「うまい話」にひっかかってしまいがちです。家族や親戚、知人に相談をして慎重に判断することが懸命です。また、相談は最寄りの心配ごと相談所や消費者センターでも電話で気軽に応じてくれます。

いらぬ時はキツパリ断わる

勧誘された時にあいまいな返事をしたばかりに、強引に不本意な契約をさせられる例が多いのです。要らない時、買う気のない時は勇気を出してキツパリと「お断わりします」「関心ありません」と意思表示することが大切です。なお、「結構です」は、NOとYESの双方の意味がありますから、使わない方が安全でしょう。

署名や印鑑を押すのは慎重にする

「うまい話」ばかり信用して、十分に契約書を読まないで署名や印を押してしまう人が多いのですが、契約書には、

セールスマンが一言も話さないことが書いてあり、思いもよらぬ被害を受けることがよくあります。また、貯金通帳や印鑑を他人であるセールスマンに預けてしまった例も数

多くありましたが、通帳や印鑑は他人に渡すべきものではありません。

しつこいセールスマンは悪徳業者です
何回断わっても、立ち去らないセールスマンに出会うことがあります。セールスマンが居座る時には、ご近所や警察に知らせる事です。

子供が交通事故で大けがをした。でも、車を運転していた人は裁判にもかけられずにいる。おかしい。そんな疑問に檢察審査会は答えます。国民の中からくじで選ばれた十一人の檢察審査員が、市民の目で、檢察官が起訴しなかったことが正しかったかどうかを審査します。

不起訴だとあきらめていませんか

千葉地方裁判所八日市場支部内
八日市場檢察審査会



檢察審査会は、全国の主な裁判所の中にあります。審査申立ての手続は簡単で、費用は一切かかりません。また、申立人の秘密は固く守られます。

八日市場檢察審査会

八日市場市イ二、七六〇番

☎ 1300